

令和4年(2022年)2月22日
記者会見資料
生活環境課
検査管財課

カーボンニュートラルへの取組について

1 趣旨

近年、地球温暖化が原因と考えられる集中豪雨、猛暑等の異常気象が世界各地で発生しており、温室効果ガスに対する社会の意識や関心が高まっている中、国を挙げた様々な取組が始まっている。

本市においても、脱炭素社会の実現に向けた機運を盛り上げ、地域全体として温暖化対策を実行していくため、行政、事業者、市民の各主体が取り組むべき内容をまとめた「東海市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の令和5年度（2023年度）策定に向けて、協議体の設置及び調査・検討を実施するもの。また、令和3年（2021年）9月に策定した、公共施設や市の職員が取り組む温暖化対策をまとめた「東海市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」に基づき、公用車を次世代自動車に更新するもの。

2 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）策定事業

(1) 事業内容

東海市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の令和5年度（2023年度）策定に向けて、協議体の設置及び調査・検討を実施するもの。

(2) 予算措置

地球温暖化対策実行計画（区域施策編）策定事業

10,244千円（報償費、策定支援業務委託等）

うち雑入 7,678千円（国による間接補助金）

3 公用車購入事業

(1) 事業内容

脱炭素社会の実現に向け、計画的に公用車を次世代自動車に更新するもの。

ア 車種

ア 電気自動車（軽四乗用） 4台

イ ハイブリット自動車（小型貨物） 1台

イ 購入時期

令和4年（2022年）5月から令和5年（2023年）3月まで（予定）

(2) 予算措置

公用車購入事業 12,558千円（備品購入費、役務費等）

うち雑入 560千円（国による間接補助金）

4 庁舎電気自動車等充電設備整備事業

(1) 事業内容

次世代自動車のうち電気自動車の導入に合わせて、庁舎に充電設備を整備するもの。

ア 規格

普通充電器MODE3（6kw单相200V）4器

イ 工期

令和4年（2022年）5月から令和4年（2022年）12月まで（予定）

ウ 設置場所

運転手控室横駐車場

(2) 予算措置

庁舎電気自動車等充電設備整備事業 1,500千円（工事請負費）

うち雑入 790千円（国による間接補助金）